



第311号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

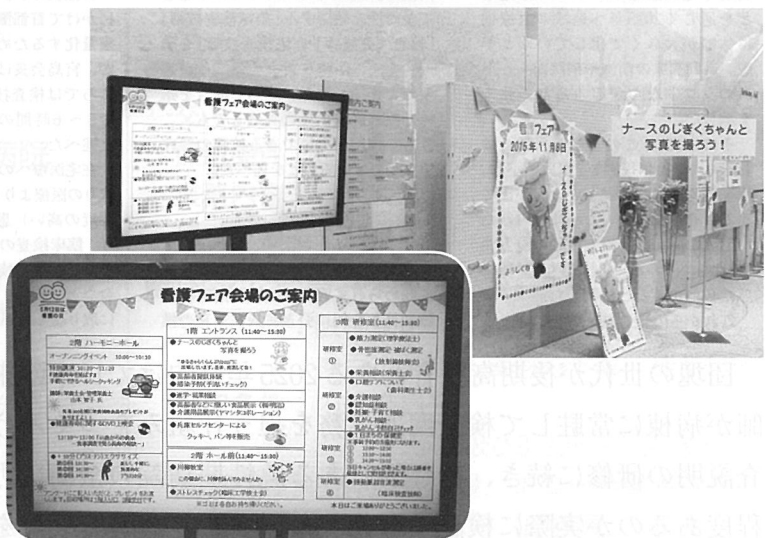
今月号の内容

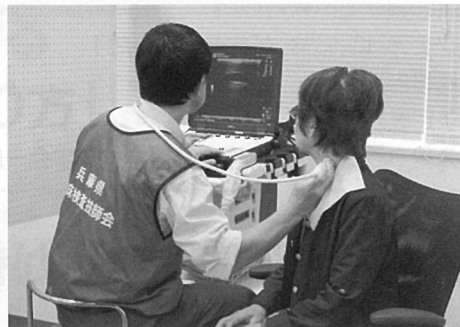
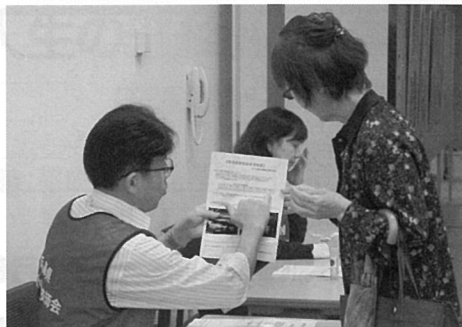
- “看護フェア”に、当会が参画しました！ 1～2
- 《各部局報告》 2～3
- 《行事予定表》 4～5
- 《賛助会員コラム》・第32回世界医学検査学会一般演題募集について・《求人情報》 6～7

“看護フェア”に、当会が参画しました！ (11月8日)

平成27年11月8日、兵庫県看護協会に於いて“看護フェア～健康寿命を延ばそう～”が開催され、「多医療職種による測定および相談」コーナーでは、放射線技師会が骨密度測定・被ばく測定、栄養士会が栄養相談等、歯科衛生士会が口腔ケアについての啓もう、理学療法士会が筋力測定などいくつかの体験コーナーが設けられていました。当会はパネル展示と頸動脈超音波検査を行い、約280名の方が受けに来られました。検査が始まると、少し緊張した面持ちになっていましたが、中には画像について尋ねる方もおられました。検査を終えて、「動脈硬化はどのように気をつければいいの?」、「硬化した血管は治せるの?」と熱心に質問される方や、あいにくの悪天候であったにもかかわらず「今日はこの検査をしにきました」「前回も来ましたが、より血管の壁が厚くなっている」と目的を持って来られたリピーターの方もおられ、一般の方々の関心の高さに驚かされました。検査説明をする臨床検査技師も、かかり付けの医師にご相談くださいと適切なアドバイスもしておりました。今後もこのような機会には積極的に参画し、臨床検査技師の仕事を知ってもらえるように努めたいと思いました。

(文責：広報部)





各部局報告

広報

「2025年」へ検査体制の再構築必要

● 迫る変革、「検査」も対応へ

「2025年」へ検査体制の再構築必要

日臨技●宮島会長 技師は「多能性」を

日本臨床衛生検査技師会の宮島喜文会長は10月17、18日、大阪市と札幌市でそれぞれ、「2025年に向けての“決断”とは～検体採取の先にあるものは～」と題して講演した。「団塊の世代」が後期高齢者となる10年後の医療の姿として、病院から在宅へのシフト、急性期病床の減少、受診者の減少を見通し、こうした医療提供体制の変革に合わせて臨床検査体制も再構築が必要になるとの考えを示した。臨床検査技師に対しても、検査説明や検体採取、測定などを担う「多能性」の発揮が今後は求められると強調した。



宮島会長は講演で、病床機能報告制度や地域医療ビジョンの策定などを通じて2025年へ地域の医療提供体制が大きく変化していくと予想。過剰病床の削減や病院から在宅へのシフトなどが起きるとの見方を示した。

その上で、「このままの状態ではおそらく、10年後、検査室は縮小し、検査技師は当然削減という話が出てくる。そうならないためには『新たな職域の開拓』と『検査技師の能力開発』の2つしかない」と述べ、対策を急ぐ必要があると強調した。

これからの検査技師の在り方とし

て、高度急性期医療に対応する「専門技師」のほか、ジェネラリストとして多能性を発揮する「病棟検査技師」「救急検査技師」「在宅検査技師」を挙げ、チーム医療に参画することが必要だと指摘。現在、会内で検討を始めた生涯教育制度の見直しでも、こうした役割を発揮できる技師の育成を目指していることを述べた。

病棟業務を推進

病棟検査業務については、薬剤師に認められている「病棟薬剤業務実施加算」を例に引き、病棟業務の推

進に取り組む方針を示した。

日臨技は、9月下旬から10月上旬にかけて首都圏の病院で病棟業務を定量化するための実態調査を行ったが、宮島会長は「粗データを見たところでは検査技師を1人置くと病棟で5～6時間の仕事があるようだ」と述べた。

在宅医療への関与については、「看取りの医療よりも前の段階の（医療必要度の高い）患者が在宅にいくだろう。臨床検査の需要が生まれるはず」と述べ、臨床検査振興協議会の勉強会などで現在、在宅検査の理論構築に取り組んでいることを説明した。

検体採取については、インフルエンザといった病原体ではなく部位により規定するよう厚生労働省と折衝してきたと振り返った上で、「現在は生殖器からの検体採取が入っていない。次の課題だ」とし、婦人科細胞診での検体採取などは今後の課題だと位置付けた。

宮島会長はまた、「現状維持は衰退・消滅への道であり、（検査技師は）その渦中にある。そこから抜け出すには、チーム医療推進から『検査体制の再構築と技師自らの自己変革』を起こすしかない」とも述べた。

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて日本臨床衛生検査技師会（日臨技）は、検査技師が病棟に常駐して検査関連業務を担う仕組みをつくろうとしている。検体採取の制度化や検査説明の研修に続き、首都圏にある急性期病院の全面協力を得て、検査技師の病棟業務がどの程度あるのか実際に検証する調査も行った。会内で検討を始めた生涯教育制度の見直しでも病

棟業務を視野に入れる。矢継ぎ早に打ち出す施策の背景にあるのは、急性期病床の削減が指摘される2025年問題への強い危機感といえる。

日臨技執行部は、全国で開かれている各支部学会での企画テーマを「2025年に向けての“決断”とは～検体採取の先にあるものは～」に設定、10月17-18日に開催された日臨技近畿支部医学検査学会では宮島会長が講演した。2025年への厚生労働省は、病床機能報告制度の創設や、各都道府県での地域医療構想の策定を通じて、地域包括ケアシステムの構築を目指している。キーワードになるのは「医療から介護へ」「病院・施設から地域・在宅へ」。医療提供の場が変れば、臨床検査を行う場所や仕組みも変わらざるを得ないので、臨床検査技師が順応すべき先は医療提供体制の変革となる。

(平成27年11月1日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)

「デンスブレスト（高濃度乳腺）」は超音波検査併用を

GEヘルスケア・ジャパンは9月30日、乳がん検診に超音波検査の有用性をテーマにしたプレス向けセミナーを開催した。講演の中で、戸崎光宏氏（さがらブレストピアヘルスケアグループ）は、「50歳以上の日本人女性約80%がデンスブレスト」とし、マンモグラフィーでデンスブレストが判明した場合は超音波検査を併用すべきとの考えを示した。デンスブレストは、乳腺密度が高いためにマンモグラフィーで白く写る。X線で乳がんを見つける場合、しこりが白く見えるために判別しにくくなる。デンスブレストは、アジア系の女性に多く、加齢とともに減少するものの、日本人女性の75歳でも40～60%程度認められる。厚生労働科学研究費補助金による「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」(J-START) 結果が公表され、マンモグラフィーに超音波検査を併用した群はマンモグラフィー単独に比べ、乳がん発見数（発見率）が有意に上昇、感度にも有意差を認めた。ステージ0・Iの初期がんに発見数が多かった。乳がん検診について7万人規模の大規模研究が実施されたのは世界初。また、超音波検査の併用によりがんの検出率向上が期待できることから「超音波検査の精度管理をさらに充実させることが急務」との課題も指摘された。

(平成27年10月21日 & 11月11日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)

「在宅医療に貢献」アピールを

札幌市で開かれた第69回国立病院総合医学会で10月3日、シンポジウム「変化する医療提供体制への対応～臨床検査の最先端から最前線～」が開かれ、在宅医療、予防医療などで臨床検査技師が今後果たす役割をめぐって議論された。この中で今後医療費圧縮のため在院日数の短縮がさらに進み、医療必要度の高い患者が在宅に移行すると予測され、在宅での臨床検査ニーズが発生すると見通した上で、臨床検査技師が在宅医療で様々な業務に参画できることを早い時期からアピールすることが肝要であることが述べられた。予防医療への関わりについても、超音波検査は、解像度が高く微小がんの検出にも優れているなどとして、がんの早期発見・治療に大きな役割を担うことができるとの期待が示された。

(平成27年11月1日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)

賛助会員

ミズホメディー [44]

(株)ミズホメディー

津田 敦哉 (西日本営業部 近畿ブロック)

～もっと人のために～

今月は、診断薬の製造・販売メーカーである株式会社ミズホメディーの紹介をさせていただきます。弊社は、1977年福岡市に臨床検査試薬販売会社として設立。現在は、佐賀県に本社・工場を構え、体外診断薬を中心に製造・販売を行っています。

体外診断用医薬品は、著しく発展を遂げ、高度化・専門化が進んでいます。弊社では、お客様に信頼される製品を供給し続けるため、ミズホメディーは「もっと人のために」をテーマに企画・開発・製造・販売にあたっています。

弊社では、診断薬事業、ライフケア事業、アグリ事業の3つの事業を柱に、事業展開を行っています。

- 診断薬事業 医家向けに体外診断薬の販売、それにおける学術的・技術的サービス及び情報提供
- ライフケア事業 OTC(薬局・薬店)向けに検査薬の販売
- アグリ事業 植物(カンキツ)のウイルス検出試薬の販売

主に、イムノクロマト法を用いた迅速診断キット「クイックチェイサーシリーズ」に力を入れており、現在では、高感度迅速診断システム「クイックチェイサー Autoシリーズ」を中心に拡販を続けています。

■クイックチェイサーシリーズ

FluA,B, Adeno, RSV, StrepA, Noro, Rota/Adeno

■クイックチェイサー Autoシリーズ

Auto FluA,B, Auto Adeno, Auto StrepA, Auto RSV/Adeno

特に高感度迅速診断システム「クイックチェイサー Immuno Reader」は、イムノクロマト法と写真の現像技術(銀増幅反応)を組み合わせた高感度技術により、発症初期からインフルエンザウイルス抗原を検出することで、高精度の診断を実現し、装置は全国に約1200台採用して頂いており、幅広いお客様にご愛用頂いております。

ミズホメディーは、「もっと人のために」をテーマに、今後ともお客様に信頼される製品の開発・製造・販売を行っていきたいと考えていますので、弊社の営業がお伺いした際は気軽に声をかけて下さい。

皆様からのご要望やアイデアを取り入れて、今後とも貢献していく所存ですので、これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

デンシトメトリ分析装置

クイック チェイサー Immuno Reader



- 場所をとらないコンパクトボディ!
- 簡単操作で自動判定!

感染症迅速診断システム

感染症3項目を専用の小型機器で自動測定

デンシトメトリ分析装置

クイック チェイサー Immuno Reader

Flu A,B クイック チェイサー Auto Flu A,B

Strep A クイック チェイサー Auto Strep A

Adeno クイック チェイサー Auto Adeno

株式会社 ミズホメディー

〒810-0001 佐賀県佐賀市東区大町1-1-1

TEL 092-233-1111 FAX 092-233-1112

http://www.mizuhomedie.com

支店 福岡市 西日本営業部 近畿ブロック

TEL 0120-12-4636



第32回世界医学検査学会 一般演題募集について

日臨技会員各位

開催ホスト国として、募集目標演題数200として、皆様から一般演題を募集いたします。

※2014年IFBLS台北での台湾人発表演題数297 総演題数の69%

※1988年第18回国際医学検査学会神戸での日本人発表演題数176 総演題数の54%

ふるって、英語発表に挑戦いただきますよう心よりお願い申し上げます。

応募要領

■抄録登録期間：2015年11月2日(月)～2016年3月31日(木)

■抄録登録方法：日臨技「会員専用ページ」⇒「会員メニュー」⇒「学会演題発表」

■学会参加費：IFBLS学会参加費

(1DAY参加パス 15,000円、通期参加パス 30,000円のいずれか)

※通期参加パスは同時開催の第65回日本医学検査学会、第63回日本臨床検査医学学会学術集会との共通パス

※1DAYパスは別に他学会への学会参加費が必要となります。

■発表形式：ポスター(AWARDあり)

※学会事務局の判断から、ご相談の上で、英語口演での発表形式に変更をお願いする場合があります。

■発表会場：神戸国際展示場1号館1階

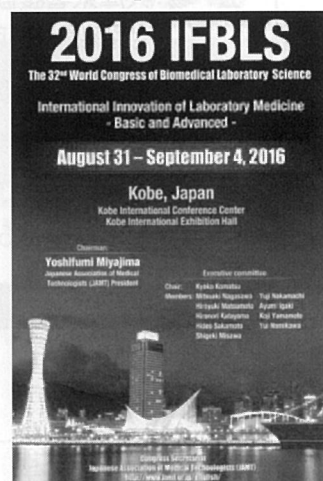
■掲示期間：2016年9月2日(金)～9月4日(日)

ポスター前拘束 9月2日(金) 12時～13時半

※事務局による9月1日マウンティング代行可。1DAY学会参加でも通期掲示となります。

■楽ポスサービス：所定PPT入稿の場合、ポスター作成・搬送サービス(無料)

■お問い合わせ：kokusai@jamt.or.jp まで



求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●医療法人社団 深水内科医院

交通：JR舞子駅下車 山陽バス54系統
「多聞団地センター」バス停すぐ

採用条件：正社員

業務内容：臨床検査(主に超音波検査)

連絡先：078-782-0016(深水)

●医療法人財団

ヒューマンメディカル尼崎新都心病院

交通：JR尼崎駅下車 徒歩3分

採用条件：正社員

業務内容：検体検査業務、生理検査業務

連絡先：06-6493-1210(総務課 香田)

●兵庫県立こども病院

交通：JR須磨駅下車 バス約15分

採用条件：非常勤嘱託職員(29時間/週)

業務内容：検体検査

連絡先：078-732-6961(検査部 松尾)

●医療法人伯鳳会はくほう会セントラル病院

交通：阪急園田駅下車 徒歩5分

採用条件：常勤

業務内容：検査全般

連絡先：06-4960-6800(人事 川原)

●(株)兵庫県臨床検査研究所

交通：JR姫路駅 バス20分

採用条件：正職員・非常勤職員

業務内容：検査全般

連絡先：079-267-1251(人事 岩本)

●国家公務員共済組合連合会 六甲病院

交通：阪神御影、JR六甲道、阪急六甲から
神戸市営バス高羽町下車 徒歩5分

採用条件：内部職員

8:30～16:45及び8:30～12:30(要相談)

業務内容：検体検査全般、エコー経験者歓迎

連絡先：078-851-8558(庶務課 安田)

第43回 兵庫県医療職団体協議会 合同研修会

みんなで考えよう！ 『人生の最終段階における 医療とケアのあり方』

日 時：平成28年2月28日（日）
13：00～16：30（12：30受付開始）

会 場：兵庫県看護協会会館 ハーモニーホール
（兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目6番24号）

参加費：一般の方 無料（医療職団体会員1,000円）

内 容：13：00～14：00 基調講演
高橋 正裕 先生（姫路聖マリア病院）
14：15～16：30 パネルディスカッション

第43回 兵庫県医療職団体協議会 合同研修会

みんなで考えよう！

『人生の最終段階における医療とケアのあり方』

今年の3月に改正された「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」では、広く人生の最終段階を迎えるか自分自身や家族で考えておくことが重要と述べ、患者様、ご家族、医療従事者が十分に話し合い、協力することで実現を目指します。

今回、皆様ご自身が、人生の最終段階を迎える際、自分にとって最適な医療とケアを作り上げるためにどのように取り組んでいくべきかについて、一緒に考える機会を企画致しました。是非、多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時：平成28年2月28日（日） 13：00～16：30
（12：30受付開始）

会 場：兵庫県看護協会会館 ハーモニーホール
（兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目6番24号）

参加費：一般の方 無料（医療職団体会員1,000円）

内 容：13：00～14：00 基調講演
講師：高橋正裕先生（姫路聖マリア病院 緩和ケア内科部長）

14：15～16：30 パネルディスカッション



【バス】元町駅下車→山手へ徒歩8分

【地下鉄】新開駅下車→徒歩2分

●兵庫県庁から西へ向う道路です。
●同じ建物内9～13階に警察（兵庫県警）があり、1階には入口がありますのでご注意ください。
●案内入口が「兵庫県看護協会」です。

主 催：兵庫県医療職団体協議会
お問い合わせ先：兵庫県臨床工学士会 担当 正木
電話：079-265-5111（姫路聖マリア病院）

「最先端」をカタチに。

全自動免疫測定装置

HISCL®-5000 NEW

医療機器製造販売登録番号：28B2X10007000117

- 全項目17分の反応系で
最大200テスト/時の迅速測定
- 化学発光基質CDP-Star[®]による
高感度測定系
- 10～30μL/テストの微量検体
- 連続測定可能な
コンティニアスローディングシステム
- 検体搬送ライン接続対応

HISCL専用試薬ラインアップ

| | |
|----------|---|
| 肝炎・感染症 | HBsAg、HBeAb、HCVAb、TPAb、HTLV-I Ab、HBeAg、HBeAb、HBeAb、HIVAg+Ab、HCVg、肝臓癌マーカー、HBcIgM、HAVIgM、HAVIgG |
| 甲状腺 | TSH、FT4、FT3、TgAb、TPOAb、TRAb |
| 腫瘍マーカー | AFP、CEA、PSA、CA19-9、CA125、ProGRP、CK19F、CA15-3 |
| 薬物分子マーカー | TAT、PIC、TM、tPAI-C |
| 内分泌 | インスリン、LH、FSH、HCG、E2、プロラクチン |
| 心臓マーカー | NT-proBNP、トロポニンT |
| その他 | フェリチン、SP-A |

*：開発中（2013年1月現在）



We Believe the Possibilities.

●パンフレット、資料は下記にご請求ください。

製造販売元
シスメックス株式会社

本 社 神戸市中央区臨海通1-5-1 〒651-0073
国内事業推進本部 Tel 078-992-6124

www.sysmex.co.jp

支 店 仙 台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-775-8101
大 阪 06-6337-8300 広 島 082-248-9070 滋 賀 092-411-4314
札幌 011-700-1090 盛 岡 019-654-3331 長 野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266
営業所 千葉 043-297-2701 静 岡 054-237-4815 全 天 076-221-9363 京 都 075-801-3196
神 戸 078-251-5331 高 松 087-823-5801 同 山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788

